

2 (3) 授業の質的改善のプロセス (A校第4学年)

(イ) 「学習問題を設定する場面」における授業の質的改善

検証授業① (9月実践)


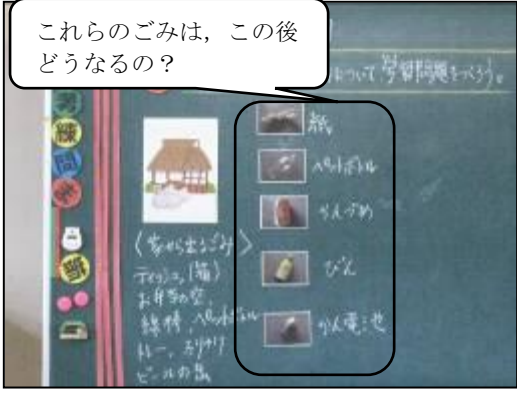
本時の目標

ごみ処理に関する資料や写真への気付きや疑問をもち、学習問題を考え、表現することができるようにする。 【社会的な思考・判断・表現】

本時に取り入れる手立て

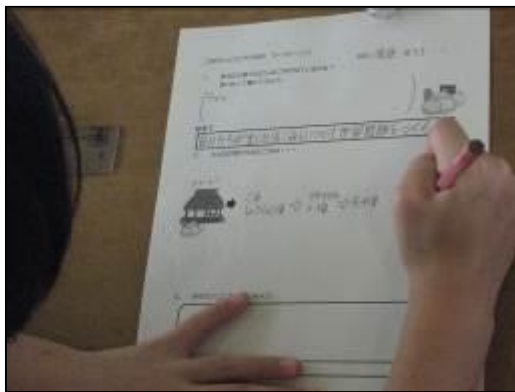
- A①身近なことを題材に挙げる。
- A②資料提示の工夫(資料の一部を隠すなど)を行う。
- A③題材に対して気付きや疑問をもたせる。
- A④気付きや疑問を教師が意識的に仲間(キーワード)分けして板書する。
- A⑤気付きや疑問に対して、問い返しをしながら、児童に予想を出させる。

本時の授業の様子

学 習 活 動	授業の様子 (T…教師, C…児童) 質的改善を図った手立て (ゴチック)
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">先生の職員室のごみ箱です。いろいろなごみが入っています。</div>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">えっ、缶詰…</div>	<p>A①身近なことを題材に挙げる。</p> <p>T: 今日の朝のことを思い出してください。朝、ごみを出してきた人? T: 今日朝何食べてきた? T: 食べた後、どんなごみが出る? C: 生ごみ。燃えるごみ。 T: あなたの家ではどんなごみが出ますか。 C: ティッシュの箱, 弁当の空箱… C: トレー, ふりかけの袋… C: ビールの缶…</p> <p>T: 単元のはじめでは、何をしていますか。 C: 学習問題をつくっています。</p>
<p>めあて 自分たちの出しているごみについて、学習問題をつくろう。</p>	
<p>2 ごみの処理について予想をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">これらのごみは、この後どうなるの?</div> 	<p>A③題材に対して気付きや疑問をもたせる。</p> <p>T: 出したごみは、どこにいくんだろう? C: 燃やす。埋める。リサイクル。(口々に) T: ごみは、どうなるのでしょうか。予想を書いてごらん。 C: 紙ごみは、ゴミ収集車が来て、運んでいきます。 T: どこに来るの? 家に来るの? C: 地区のごみ捨て場…? ステーション? (口々に) T: いつ、持っていくの? C: ごみごとに違う。何曜日かは分からない…。</p>

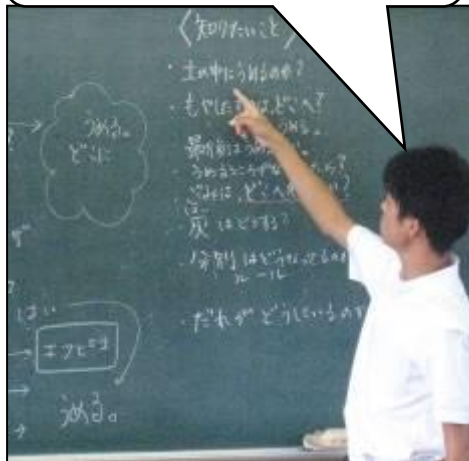


3 家から出たごみがどこへ行くのかを考える。〈個人→グループ→学級全体〉



【ごみの処理について予想している様子】

ここに書いてある「知りたいこと」は何のこと？



【観点ごとに板書で整理している様子】

A②資料提示の工夫(資料の一部を隠すなど)を行う。

T: ここには、何があるでしょう？
 C: ごみが分けてある場所かな？
 T: (校内のごみ分別場所を示して) 分別しています。
 T: どうして分別しているのかな？
 C: (口々に) 分けないと、持って行ってくれないから。
 C: 分ける人が大変だから。
 T: 同じところ(地区のごみ捨て場)に出すのに、わざわざ分けないといけないの？
 T: 出し方にも何かきまりがあるのかな？

A⑤気付きや疑問に対して、問い返しをしながら、児童に予想を出させる。

T: 出したごみは、どこに行くのかな？
 C: ごみ処理場だと思います。
 C: エコプラザ(佐賀市)？
 T: では、先生が出した生ごみも、佐賀市のエコプラザ？
 C: いや、私たちのごみは、違うところじゃないかな？
 T: では、私たちのごみは？
 C: 西なんとかか…
 T: では、西なんとかには誰がいて、何をしているの？
 C: (口々に) リサイクルしている人がいる…
 T: では、このペットボトルは？
 C: エフピコ？
 T: では、この缶詰は？
 C: (口々に) つぶして、リサイクルして…？
 T: では、この瓶は？
 C: (口々に) 割って溶かして、埋めて…？
 T: 最後は、埋めるんだね？どこに埋めるのかな？
 C: 全部は埋めるわけではないんじゃないかな？

A④気付きや疑問を教師が意識的に仲間(キーワード)分けして板書する。

T: みんながこれから調べたいことは何ですか。
 C: 出したごみは、土の中に埋めるのか知りたいです。
 C: 燃やしたごみはどこへ行くのか調べたいです。
 C: 分別のルールは、どうなっているのか知りたいです。
 C: 誰がどうやってごみを処理しているのか調べたいです。
 T: ここに書いてある知りたいことは何のこと？
 C: (口々に) きまり, 方法, 処分の方法…。働いている人

<p>3 気付きや疑問を基に学習問題をつくる。</p>	<p>T: 書き出しは, 「ごみは〜」にしましょう。 C: ごみはどうなっているのか? C: ごみは誰がどうやって, どんな方法で処分して, まちをきれいにしているのか。 C: ごみはどんな方法で, 誰がどうしているのか。 T: 一つにするならどんな言葉になりそう? C: (口々に) ごみは, 誰がどうやってどんな方法で処分しているのか。</p>
-----------------------------	---



【本時の最終的な板書】

本時の成果と課題 (○成果, ●課題)

- 児童は教師が提示した資料から, たくさんの気付きを公表した。そして, 調べる観点 (キーワード) を見いだしながら, 学習問題を設定することができた。本時に取り入れたA①～A⑤の手立てが児童の問題意識を高める上で効果的だったと考える。
- 教師と児童の1対1で, 学習が展開される場面があり, (限りなく) 全員が学習問題を自らの問題として捉えることができたかどうか疑問が残った。学習問題を設定する過程において, 児童全員が主体的に気付きや疑問を出し合い, 全員が学習問題設定に関われるように手立てを工夫したい。



次単元に取り入れる手立て(記号, 番号は質的改善の手引きと対応。○は, 手引きにはない手立てを示す。)

- A⑥自分の考えをもちやすい場面(予想など)で, 自分と相手の意見が同じか違うか考えさせながら対話をさせる。
- 学習問題を記述することができた児童全員に発表させ, 共通するキーワードに焦点化していき, 全体の学習問題として設定する。
- 個人の疑問が全員の問題意識へとつながるように, 「みんなはどう思う?」などと全体に問い掛ける。

2 (3) 授業の質的改善のプロセス (A校第4学年)

(イ)「学習問題を設定する場面」における授業の質的改善

検証授業② (10月実践)

本時の目標

有田焼に関する資料や写真についての気付きや疑問をもち、学習問題を考え、表現することができるようにする。 【社会的な思考・判断・表現】

本時に取り入れる手立て (記号, 番号は質的改善の手引きと対応。○は, 手引きにはない手立てを示す。)

- A⑥自分の考えをもちやすい場面 (予想など) で, 自分と相手の意見が同じか違うか考えさせながら対話をさせる。
- 学習問題を記述することができた児童全員に発表させ, 共通するキーワードに焦点化していき, 全体の学習問題として設定する。
- 個人の疑問が全員の問題意識へとつながるように, 「みんなはどう思う?」などと全体に問い掛ける。

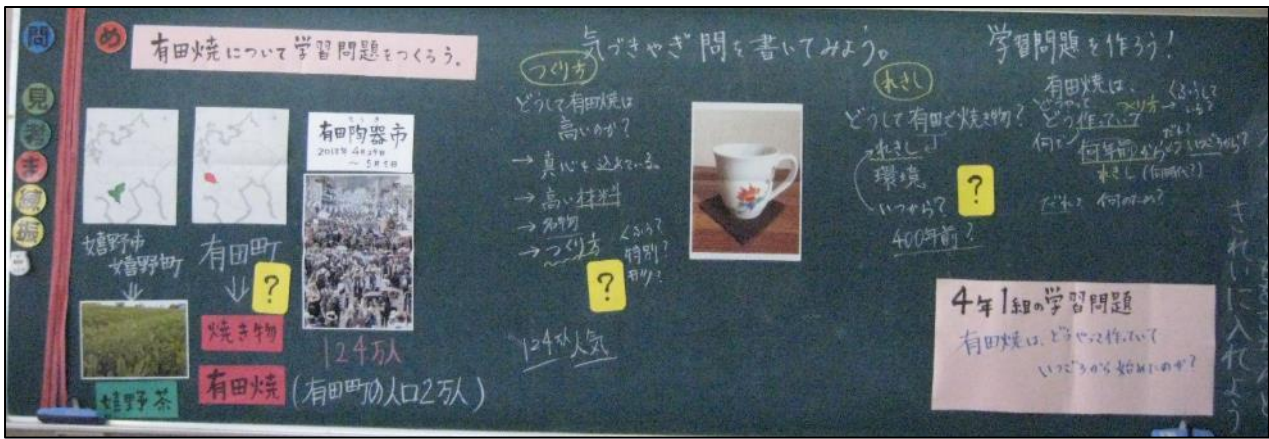
本時の授業の様子

学 習 活 動	授業の様子 (T…教師, C…児童) 質的改善を図った手立て (ゴチック)
1 有田町に関する写真を見て, 気付いたことを交流する。	
2 本時のめあてをつかむ	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> めあて 有田焼について学習問題をつくろう。 </div>
3 有田焼に関する資料や写真を通して気付いたことや疑問に思ったことを書いて, 話し合う。 (個人→ペア→全体)	<p>A⑥自分の考えを持ちやすい場面 (予想など) で, 自分と相手の意見が同じか違うか考えさせながら対話させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>T: では, 友達と交流してみましょう。</p> <p>C1: 私の疑問は, どうして有田焼と100円均一の焼き物はこんなに値段が違うのかということです。</p> <p>C2: 分かりました。ぼくは, 少し違って有田焼はどうやってつくっているのかを疑問に思いました。</p> <p>C3: 私の気付きは, 有田焼は白っぽくてツルツルしているということです。</p> <p>C4: 私は, 有田焼の作り方を知りたいと思いました。</p> <p>C3: ぼくも同じことを思いました。</p> </div>



【気付きや疑問を交流している様子】

<p>4 気付きや疑問を基に学習問題をつくる。</p>	<p>○個人の疑問が全員の問題意識へとつながるように、「みんなはどう思う？」などと全体に問い掛ける。</p> <p>T: C2さんが言ったように、つくり方が何か特別なのでしょうか。みんなはどう思いますか？ C: つくるときに工夫していると思います。 T: どのような工夫？ C: 特別なやり方。 T: なるほど。他にも意見がある人はいますか？ C: 形に工夫がある。 T: 形のつくり方に何か秘密があるということですね。同じ焼き物でも値段が違う・・・調べてみないと分からないね。</p> <p>○学習問題を記述することができた児童全員に発表させ、共通するキーワードに焦点化していき、全体の学習問題として設定する。</p> <p>T: 学習問題を書いた人は、立って発表しましょう。同じようなものが出たら座りましょう。 (※大半の児童が立ち上がり、次々に発表していく。) C: 私は、「有田焼はどうやってつくっていて、何年前から始まったのか」です。 C: 「有田焼はどういうつくり方で、どんな歴史があるのだろう」です。 C: ぼくは、「有田焼はだれが何のためにつくっているのだろう」です。 C: 「なんで有田焼は有名なのだろうか」です。 C: 私は、「どうして有田焼は高いのだろう」です。 (※全員が次々と発表をしていく。) T: クラスで一つ学習問題をつくりましょうか。 C: 有田焼は・・・ T: どのような言葉がみんなの学習問題の中にたくさん出てきたかな？ (児童が次々つつぶやく。) C: つくり方。 C: 歴史。いつからか。 T: すると、学習問題は「有田焼はどうやってつくっていて、いつ頃から始められたのか」でいいですか。 C: はい！</p>
-----------------------------	---



【本時の板書】

本時の成果と課題 (○成果, ●課題)

- 本時の学習問題につながる2つのキーワード(「つくり方」「れきし」)に関する疑問は、全体に疑問を投げ掛けて考えさせることで、一人一人の問題意識として広がりをもたせることができた。学習問題を自らの問題として捉えさせるための手立てとして有効であった。(※「みんなはどう思う?」などと全体に問い掛けたり、考えを記述した児童から発表を促したりすることで、児童全員が授業に主体的に参加することにつながるということが分かった。しかし、これらの手立ては全教科・領域等の授業づくりに関わる手立てであると考えるので、本研究が提案する「質的改善を図るための手立て」としては特に取り上げることはしない。)
- 気づきや疑問を全体で交流する場面においては、児童は活発に自分の考えを発表していた。これは、全体交流前のペア対話において、A⑥の手立てを取り入れたことで児童の問題意識を高めることにつながったからだと考える。
- 児童の問題意識を高め、学習問題を自分事として捉えさせるためには、本時のように調べていきたいことを学習問題として書かせる時間を設定することが必要だと考える。
- 「つくり方」と「れきし」という2つのキーワードを使って学習問題を作ることができた児童は半数程度であった。キーワードを意識させる手立てが必要であった。



次単元に取り入れる手立て(記号, 番号は質的改善の手引きと対応。○は, 手引きにはない手立てを示す。)

- A⑧ 調べていきたいことを学習問題として書かせる。
- 全体で出た気づきや疑問を基につくったキーワードを意識させて、個人の学習問題をつくるように声掛けをする。

2 (3) 授業の質的改善のプロセス (A校第4学年)

(イ)「学習問題を設定する場面」における授業の質的改善

検証授業③ (11月実践)

本時の目標

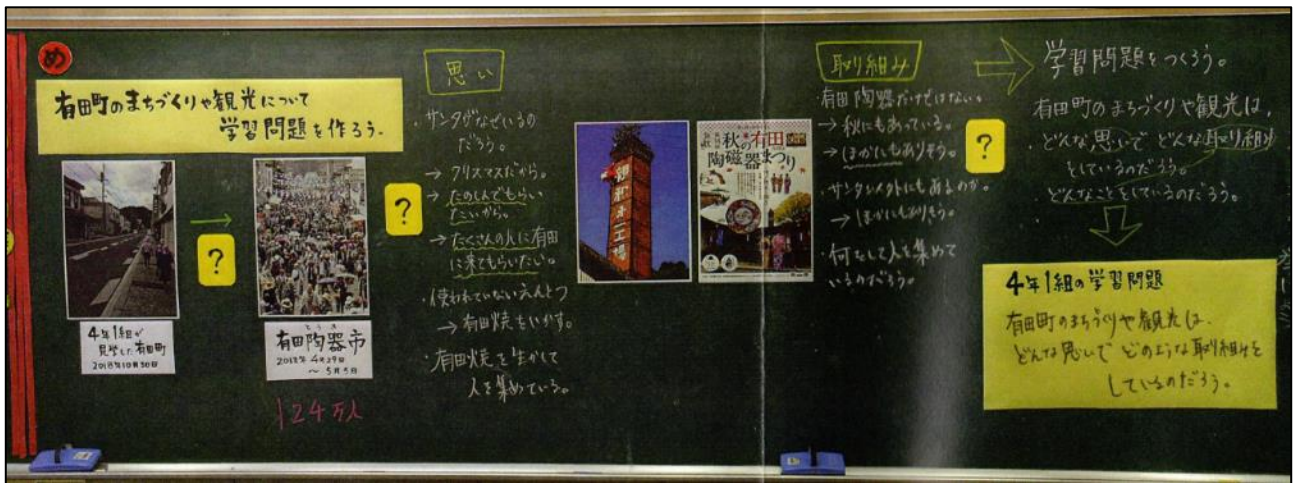
有田町のまちづくりや観光に関する資料や写真についての気付きや疑問をもち、学習問題を考え、表現することができるようにする。 【社会的な思考・判断・表現】

本時に取り入れる手立て (記号, 番号は質的改善の手引きと対応。○は, 手引きにはない手立てを示す。)

A⑧調べていきたいことを学習問題として書かせる。
 ○全体での気付きや疑問を基につくったキーワードを意識させて、個人の学習問題をつくるように声掛けをする。

本時の授業の様子

学 習 活 動	授業の様子 (T…教師, C…児童) 質的改善を図った手立て (ゴチック)
1 有田町のまちづくりに関する写真を見て、気付いたことを交流する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> めあて 有田町のまちづくりや観光について学習問題をつくろう。 </div> 2 本時のめあてをつかむ。 3 有田町のまちづくりに関する資料や写真を通して気付いたことや疑問に思ったことを書いて、話し合う。 〈個人→ペア→全体〉 4 気付きや疑問を基に学習問題Ⅱをつくる。	A⑧ 調べていきたいことを学習問題として書かせる。 ○全体での気付きや疑問を基につくったキーワードを意識させて、個人の学習問題をつくるように声掛けをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> T: みんなの気付きや疑問を仲間分けするとしたらどうなりますか。(意図的に分けて黒板に書いたものを示しながら)これらは、どのようなことについてですか。 C: 人の気持ち! C: 思いや願い! T: では、「思い」としましょう。こちらは? C: していること! C: 取り組んでいること。 T: 「取り組み」ですね。では、このキーワードを使って自分で学習問題を書いてみましょう。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 有田町のまちづくりや観光は、どんな思いでどのような取り組みをしているのだろう。 (学習問題Ⅱ) </div>



【本時の板書】

本時の成果と課題 (○成果, ●課題)

- 全体での気づきや疑問を基につくったキーワードを意識させたことで、ほぼすべての児童が「思い」と「取り組み」という2つのキーワードを取り入れて学習問題を記述することができた。
- 教師が提示した資料から疑問や気づきを出し合って学習問題をつくることができるようになってきたので、今後は、学習問題を解決した後も新たな課題を見付け、追究していく学習過程に慣れさせていきたい。